



## 星ぶるさと 阿智村より 暮らしたい、暮らしつづけたい村。 暮らす、生きる。阿智家族

阿智村は、南信州の山間に位置する小さな村です。しかし、ながら、環境省から認定された日本美しい星や、5千本が咲き誇る花桃、伝統の手づくり花火などの地域資源に恵まれ、東山道には万葉の時代から人々が通い歌で詠われた由緒ある地域もあります。

この村に暮らす人だけでなく、これから暮らしたい人や訪れた人も皆が『阿智家族』として夢を語り、分かち合い、支え合ひ、大きな家族になります。そんな想いで、村づくりを高めていきたいと考えています。



阿智村への“定住”に関するご相談・お問い合わせはお気軽に

**阿智村役場 定住促進係**まで

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483 FAX0265-43-3940 <http://www.vill.achi.nagano.jp>

0265-43-2220 (内線513)

[teijyu@vill.achi.nagano.jp](mailto:teijyu@vill.achi.nagano.jp)



平成26年築、阿智村園原 村営住宅

暮らす、生きる。阿智家族 カジュアル版

暮らす、生きる。阿智家族

この村で建てる、探す、直す、働く、増やすを応援します。

家をたてる

20~40歳の定住者へ  
若者定住促進のための住宅新規改築等支援金

41~50歳の定住者へ  
集落定住者維持のための住宅新規改築等支援金

分譲住宅地造成事業

家をさがす・なおす

村営住宅 空き家情報

定住者へ 村内の物件所有者へ  
めぐもりの田舎暮らし推進事業補助金

農業ではたらく

45歳までの就農者へ  
新規就農者支援事業

仲間をふやす

集落へ ターン受け入れ集落支援金  
子育て環境支援 ハローワーク求人情報

※掲載の内容は、2016年4月1日からの定住者支援事業です。

詳しくはリーフレットで。  
お申し込みはお気軽に!

阿智村役場にお越しになれない方は、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、下記までお申し込みください。

暮らす、生きる。

阿智家族 カジュアル版

2016.11★発行 / 阿智村役場 協働活動推進課 定住促進係

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483 TEL0265-43-2220 FAX0265-43-3940

カジュアル版



## 同じところなら、おもしろいことができるかもしれない。

阿智村伍和地区で農業を営む小塙英且さんと品川雄さんは、大学の同じサークルで知り合った仲間。とはいっても、阿智村はおろか南信州に縁のなかったふたりが、なぜここに移住して農業を始めようと考えたのだろうか。



### 阿智家族

小塙 英且さん(34)④  
品川 雄さん(34)④

### 山小屋で働きながら見えてきたこと

サークル仲間であるとともに、ふたりの接点は家族全員が“山”好きだったことにある。大学卒業後、山小屋で働いていた経験があるのも興味深い。

**小塙** 「穂高の山小屋で働いて4年目頃だったでしょうか、楽しいけれど家庭を持ったら続けられる仕事ではないなと感じていました。山小屋での食事は冷凍がメインでしたから、やはり自分で作って、自然の中で生活できるという想いの先に農業があったわけです」

**品川** 「わが家は、両親が音楽家でありながらワンドーフォーゲル部で出会った山好きのふたり。私も山が大好きになり、三俣山荘という北アルプスにある山小屋で3シーズン働きました。4ヶ月の短い営業期間で四季のうつろいを感じることができ、その環境の中で生活することによって多くのことを学びました。一生の仕事として働きたかったのですが、季節労働であるゆえの不安定さもあり、続けるかやめるかとも悩みました。四季の変化を肌で感じながら自分を表現することができる”農業”は素晴らしい仕事だと思い、有機農

業が盛んに行われている埼玉県小川町で農業研修を受けることにしました」

### 気心知れた仲間が近くにいたら よりおもしろいことができるかもしれない!

**小塙** 「僕が農業研修を行ったのは、大分県でした。農業実習をしながら九州から広島あたりまで就農できる場所を探しましたが、見つからない…。そんなとき、紹介していただいたのが阿智村役場でした。他の市町村ではさんざん資金について尋ねられたり、営農の難しさを説明されたりでしたが、当時の担当の方が寛大だったのかな…。それに、有機農法で指導を仰げる環境であったことも大きいかかもしれません」

**品川** 「彼が阿智に暮らすことに決めたと聞いて、休暇を使って遊びに行きました。気候も野菜栽培に向いていて景色がとても良く、何より人が温かい! 気心の知れた仲間が近くにいたら、よりおもしろいことができるかもしれない! そう思って1ヶ月ほど通って自分も阿智村への移住を決めました」



兄である品川聖さん(ヴァイオラ・ダ・ガンバ奏者)のコンサートを企画したり、2015年からは『阿智ファームライブ』を企画するなど、精力的なアクションを続ける品川さん。「この地域に暮らし続けながら、自分の想いや阿智村の魅力を発信し続けていきたいと思っています。農業だけでは知り合えなかつた人が、自分のやっていることに興味を持って畑に来てくれるこれが本当に嬉しいです」東京都出身



いろいろなものを“農”と組み合わせることによって、農業や阿智を多くの人に身近に感じてもらえたならなあと思っています。(品川)

「何農家ですか?と尋ねられたときに、自分はこの作物で勝負しますといふものを持ちたいと思ったんです。やるならその作物で日本一になりたいと思い、この阿智村という場所の気候や標高を最大限に生かすことができる“ズッキーニ”を選びました。出荷時期の長さ、色や形の豊富さ、出荷量、指定のサイズなど、オーダーすべての要望に応えたいと思って栽培しています。また、自分が企画したライブや兄のコンサート会場で、栽培した野菜を販売しています。食と芸術ってとても繋がりの深いもの。いろいろなものを“農”と組み合わせることによって、農業や阿智を多くの人に身近に感じてもらえたならなあと思っています」

**暮らし自体が生きることそのもの。  
だから、職業は“百姓”と言っているんです。(小塚)**

「少量多品目でじかにお客様に届けるスタイルを大切にしています。家の周りの農地を中心に、年間で60~70種ぐらい作っているでしょうか。就農1年目から、名古屋で週末に開かれているオーガニックマーケットで、お客様とじかに会話しながら販売しています。

職業は?と聞かれると“百姓”と答えています。百姓って農業だけにとどまらず何でもやる。生きること、暮らすことすべてが職業というイメージ。今の自分は、まさに暮らし自体が生きることそのものですから。ふたりの子どもたちは2歳と、5ヶ月。この子たちがこの地で何を見て、どう育っていくのか楽しみにしているんです」



空き家だった古民家で暮らす小塚さん一家。  
「初めて来たときは畑に入していく道がわからないくらいうっそうしていました。農業をやりたい、と漠然と考えている人は大規模農業をイメージしているのかもしれません、品川くんのようなやり方もあり、わが家のような必要以上の機械や資材も使わない小さくてコンパクトな農業といいいろいろな選択肢もあることを知ってほしいですね」愛知県出身



太鼓をいつでも鳴らせる、  
舞を思う存分稽古できる。  
そのうえ星のガイドとして  
人とつながれる。  
私にとっては理想的な環境で  
自己実現できつつあるんです。

『天空の楽園日本一の星空ナイトツアー』で、ブルーのロングコートを身にまとい、星空の解説や案内役を務める星のおねえさんのひとり、井上晶子さん。よく通る張りのある声と美しい所作には、実は理由があった。

**阿智家族**  
井上 晶子さん

## 日本一の 天空の楽園へ、 ようこそ。



### スタービレッジ阿智『天空の楽園日本一の星空ナイトツアー』

阿智村は、環境省認定の「星が最も輝いて見える場所」第一位に選ばれた日本一の星空の村。

全長2,500メートル、高低差600メートルをゴンドラで登ること約15分。標高1,400メートルに位置するヘブンスそのはらを会場に行われる『天空の楽園日本一の星空ナイトツアー』は、設置された照明を一斉に消した瞬間、まさに天空の楽園と呼ぶにふさわしい満天の星々が迎えてくれる。

2012年から始まったこのナイトツアーは、年々各メディアでの取材や特集が相次ぎ、4年目となった2015年のシーズンは1晩で数千人が満天の夜空を堪能することもあったほど…。期間中は場内いっぱいに天体望遠鏡を並べた天体観測イベントや、大人気の星のお兄さんによるスターイトライブ、キキララを親善大使に迎えたイベントが行われ、年齢を問わず星空を身近に楽しむことができる。

◎くわしい情報は:スタービレッジ阿智 [sva.jp/](http://sva.jp/)

### 浪合はまたとない環境

舞と和太鼓のプロとして活動する井上晶子さんが浪合地区に移住したのは、1年前のこと。

「実家は三重です。幼い頃から家族で伊那の田楽座に太鼓や舞を稽古に来ていたので、伊那谷は全く知らない場所ではありませんでした。当時暮らしていた仙台を離れてソロ活動することになりどこを拠点にしようかと考えていたとき、阿智で活動していた『地域おこし協力隊』メンバーと知り合ったのです。太鼓をいつでも鳴らせる、舞を思う存分稽古できる条件を考えたとき、浪合はまたとない環境でした」

### まず、身近な周りの人を元気で幸せにしたい

「自分自身が、浪合に来て星空の美しさに感動したひとりです。太鼓も踊りも続けながら、星のガイドとして人とつながれる。私にとって、理想的な環境で自己実現できつつあるんです。両方あっての浪合での暮らしですから」

